

寺内町会館の展示物を一新

東蘭組の天幕や獅子頭



御坊祭東蘭組の四ツ太鼓の天幕や獅子頭を展示

御坊商工会議所が運営し、2周年を迎えた御坊市中町の情報発信拠点「御坊寺内町会館」は、メイン展示物をリニューアル。5日に御坊祭を終えた東蘭組の祭礼道具に一新し、来年1月末まで公開している。

展示しているのは、東蘭組の四ツ太鼓の天幕、のぼり、獅子頭など。同組が100周年を迎えた昨年記念に作り、一年限りの舞いを見せた金の獅子頭も飾られている。同組関係者は、「金獅子は、ほかでは見られないのでこの機会に見に来てください」と話していた。来年2月からは、会津藩士と戊辰戦争に関する資料を展示する。

同会館では、11月16日の午後1時半から、東山の森Ark代表理事の東睦子さんによる「有間皇子」に関する講演会が開かれる。また同日、翌17日に行われる顕彰事業「和田勇に学ぶ」に出席するため来日する和田勇氏の次女メアリー・マリコ・ローズさんが来館し、初めて和田勇資料館を見学する。